

青梅市社会教育委員会議 1 月定例会会議録

日 時

令和 6 年 1 月 1 6 日

会 場

市役所 2 階 2 0 1 会議室

出席者

(委員)

宮野委員、吉野委員、富田委員、鈴木委員、鶴岡委員、白井委員

(事務局)

遠藤課長、土屋係長、橋本主任

欠席者

(委員)

神山委員、栗原委員、市川委員、園田委員

1 開 会

【委員】二十歳を祝う会について、のちほど参加された委員の皆様に御発言
いただきたい。服装のマナーについてたびたび注意することで参加者も良
く従っていた、毎年続けていくことで定着していくことと思う。当日は風
も無くてよかった。自宅のフクジュソウが咲き春が近づいてきたのを実感
している。

【課長】二十歳を祝う会、今年は静かで、解散後に外へ出ても大きな騒音な
どの問題はなく参加者は 1 3 時ごろ退出した。本日もよろしく願いした
い。

2 報告事項

- (1) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会に
ついて (報告資料 1)

ア 日 時 令和 5 年 1 2 月 2 日 (土) 1 3 時 3 0 分～

イ 会 場 調布市文化センターたづくり

ウ 内 容 各ブロック研修会実施報告・講演

エ 参加者 宮野委員

随行 土屋、橋本

【事務局説明】各ブロック研修会の実施報告、社教連会長の講演、パネルデ
ィスカッションなどの内容だった。

【議長】当日は良い天気だった。会場となった調布市文化センターたづくり
は非常に立派な施設だったが、例年に比べて出席者数が少なかったため寂
しく感じた。各ブロックの報告はとても良かった。社教連会長講演、パネ
ルディスカッションを聴き、社会教育委員の活動は各市で異なった形であ

ると感じた。研修会終了後に4年ぶりに交流会を行なったが、他市はほとんど出席がなく、何事も一旦途切れてから再構築するのは大変なことであると感じた。来年の都市社連協の担当市なども出席者が少なく、各ブロックはそれぞれががんばっていると思うが、それをつないでいくことに若干の不安を感じている。

(2) 「令和6年成人の日 青梅市二十歳を祝う会」について（報告資料2）

【事務局説明】該当者1,231名中、出席者は904名、出席率は73.4%と、昨年に比して出席率は上がった。青少年委員定例会での反省点として、タイムカプセルについての映像が良かった、参加者がなかなか入場しなかったために5分遅れで進行することになった、との意見があった。参加した社会教育委員の皆様からの御意見をいただきたい。

【委員】今年は静かで品行方正に感じた。街宣車などを見かけたので心配したが特に問題なかった。去年もそうだが誓いの言葉を話した人など二十歳でも立派な目標を持ち人生設計ができている人もいると感じた。例年7割の出席は立派だと思った、できれば他市の出席率を知りたいと思った。

【委員】ショーについて、式典中は外すことを司会者から伝えたため、みんな外してよかった。タイムカプセルについて、過去の経験ではなかなか受け取りに来なかったが、今回映像で紹介することで興味が出て良い企画だと思った。

【委員】成人式に出席するのは15年ぶりだが、15年で時代が変わってこんなにおとなしくなるのかと衝撃を受けた。市長のあいさつの「人生は思ったより短い」という前向きなあいさつが良かった。

【委員】自分の子供の成人式のときには「式典を終わります」と言ったとたんに壇上に上がっていく新成人を職員が押さえるような場面を見ているので、昨今は本当におとなしくなったと感じている。ショーを外すことについて数回アナウンスを行なうことで、一度では気づかなくても外す人が出てよかった。タイムカプセル取り出す映像とても良いと思った。来賓用駐車場について、退出するとき一般の方が入ってこようとしてぎくしゃくしていたので、関係者専用である旨がもっと広まっているといいと思った。

【委員】今年もおとなしく感じた。ただ、去年より明るい印象があった。昨年まではコロナでお互いに会えないことが続いたため「やっと会えた」という勢いがあったが、今年はまだ少し落ち着いて話している感じがした。タイムカプセルの映像は良いと思った、中学生が空けたのがよかった。駅から歩いてきたが、やんちゃした時代の親御さんの子にしてはおとなしいと感じた。

【委員】着任時の中3の子に当たるので、そのときの子供が成人になったんだなと感じた。会場の雰囲気も良くてしっかりしていると感じた。司会者の女性は中学校のときから知っているが、当時から前に出る子だった印象

がある。成人式ではなく二十歳を祝う会となったが、意識が変わっていくのを感じた。

【委員】市長の話が良かったと思った。

【委員】市長は通例としてつづら折りとなった挨拶文を読んでいくが、今度の市長はその文章を置いて話していた。内容は熱の入った挨拶であると感じた。

【委員】市長は目線を参加者に合わせていると感じた。

(3) 生涯学習事業実施予定・結果 (報告資料3)

【事務局説明】

(4) その他

特になし

3 協議事項

(1) 青梅市社会教育委員会議 1 1 月定例会会議録について (協議資料1)

【事務局説明】

異議なしで内容承認

(2) 令和5年度社会教育委員活動記録作成にかかる原稿の提出について

(協議資料2)

【事務局説明】都市社連協への報告

異議なしで内容承認

(3) 『社教情報』購入希望調査

(協議資料3)

宮野	吉野	富田	神山	市川	栗原	鈴木	鶴岡	白井	園田
○	○			○			○	○	

3 月定例会で配布予定

(4) その他

特になし

4 その他

配布物

- ・生涯学習だより
- ・青少年委員だより
- ・「青梅市の社会教育」令和4年度版
- ・第六次青梅市生涯学習推進計画進捗状況報告書
- ・令和4年度青梅市子ども読書活動推進事業報告書
- ・とうきょうの地域教育

【委員】11月の定例会で話したトランスジェンダーに関する講演について、次の日社会教育課から電話があり、市民安全課と社会教育課の共催で市役所201から203会議室、3/23（土）午後の2時間ほどの時間帯で行なうことに決定した。皆さんの御協力に感謝するとともに、御来場のほどよろしくお願ひしたい。次回の定例会でチラシ配布予定。

（教育委員会後援事業「おとなのDISCO」チラシを配布）

「青梅フェスティバルの会」では子供向けの事業を数回開催したが、大人向けの事業について考えていたところ、40代の人と話しているときにバブル景気を知らないということだったので、40代から60代の人たちをつなぐ事業として計画した。DJTSUYOSHIさんという方が来てくれることになったが、この方は長淵在住の50代半ばの方で、中国やインドなど世界中回っている。西多摩の街おこしイベントに積極的に関わっていて、日の出・あきる野・檜原で音楽Fesを毎年行なっているが1,300人くらい集まる。本人もこの事業をきっかけにして青梅の街おこしができれば良いと考えてくれて、格安で出演してもらえとのことなので、ぜひ皆さんも参加いただきたい。

【委員】ターゲットはどのように考えているか？

【委員】当時の世代の人は懐かしく、若い人は新鮮に感じてもらえると思う。現在のところ50代くらいの女性3名から申し込みがあった。

【委員】今の若い人にはディスコのリズム感は違和感があるように思うが？

【委員】昭和歌謡などは親世代に影響されて一定の需要があると聞いているので、この企画も良いと思っている。

【委員】若い人が来るといいと思う。

【委員】舞台を作って、実際に踊っていた人に踊ってもらう方向で進めている。

【委員】ぜひがんばっていただきたい。

次回定例会 2月20日（火） 午後7時～